

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

組立・施工の前に...
 商品を正しく組立・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。
 商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。
組立・施工の後...
 取扱説明書をお施主様にお渡しください。

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。
 誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
 作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

説明図中の部品には、< >で同梱先を表示しています。

チェックシート

組立・施工時、本文中に表示している「チェックマーク」の確認をしてください。

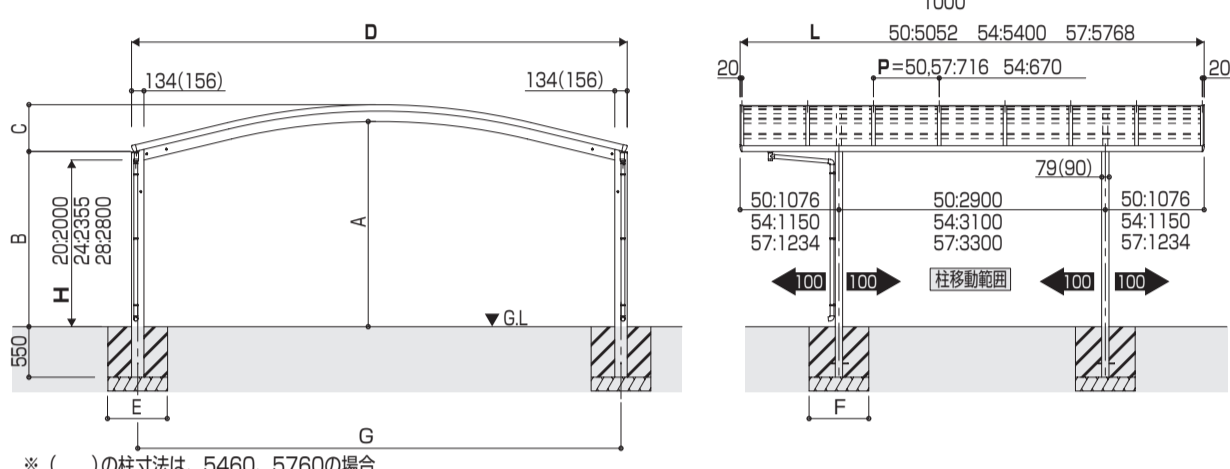
項目	チェック欄
① 基礎寸法	
② シーリング	
③ 柱の間隔・垂直・対角・後枠の水勾配	
④ 側枠・垂木取付ねじの締付け	
⑤ 柱の水抜き穴	
⑥ 屋根材のみ込み	
⑦ 屋根材押えの押しあて	
⑧ 屋根材押え取付ねじの締付け	

寸法図(単位: mm)

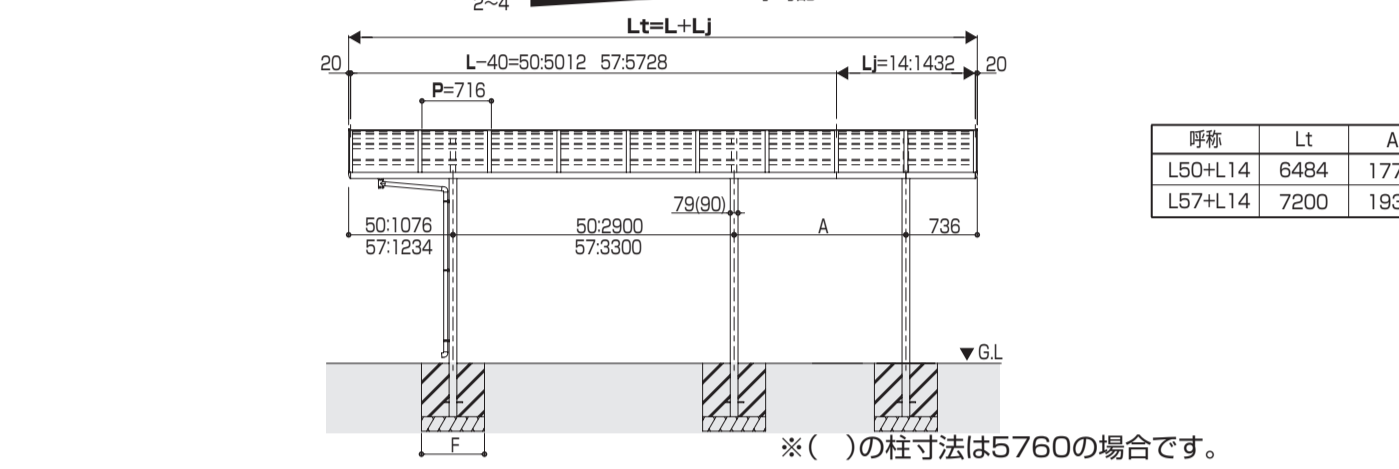
土間コンクリート考慮基礎条件
 本基礎の場合は、下記各条件を満たしていることを確認してください。
 条件を満たしていない場合は、「独立基礎」の大きさにして施工してください。

基礎条件
 ①土間コンクリート厚 : 100mm以上、有筋
 ②土間コンクリート強度 : 18N/㎡以上
 ③緑端距離 : 200mm以上
 ④地耐力 : 50KN/㎡以上

■基本セット



■基本+延長セット



お願い
 屋根の長さ方向に水勾配 2~4/1000 mmをつけてください。
 雨樋側の柱高さをG~14mm低くすると、2~4/1000 mmの水勾配になります。
 逆勾配は雨漏り・雨溜まりの原因になります。

呼称	D	G	H	A	B	C
D48	4801	4666	2000 2355	2348 2703	2039 2440	438
D51	5087	4952	2000 2355	2383 2738	2039 2440	474
D54	5392	5257	2000 2355	2419 2774	2039 2440	509
D60 (L50)	5983	5848	2000 2355	2450 2805	2039 2440	580
D60 (L54・L57)	5827	5682	2000 2355	2485 2840	2106 2461	

●土間コンクリート考慮基礎の場合
 ※採用条件については、土間コンクリート考慮基礎条件を参照

カーポートサイズ	D60	柱間隔のサイズ
基礎寸法 E×F	470×470	410×410

●独立基礎の場合
 ※採用条件については、土間コンクリート考慮基礎条件を参照

カーポートサイズ	D48・51・54	D60
基礎寸法 E×F	670×670	700×700

同梱一覧

■柱ユニット HC#-(DS)#A##-1#	■梁ユニット HCD-(DS)WB###	■母屋 HCD-(DS)WL####	■連棟部品ユニット HC#-(DS)#GJ##
HC#-(DS)#A##-1# HCD-(DS)WA##A-2T2	HCD-(DS)WB### HCD-(DS)WB###-1	HCD-(DS)WL####	HCD-(DS)WD14###
部品名 柱	部品名 梁	部品名 母屋	部品名 前枠連結材
部品 柱	部品 梁	部品 母屋	部品 後枠連結材
品番 K-34805	品番	品番	部品 後枠連結金具
備考 1 (L=1950) 1 (L=1300)	HCD-(DS)WB#36 5	HCD-(DS)WL#36 5	部品 母屋連結材
HCD-(DS)A20# 2	HCD-(DS)WB#42 4	HCD-(DS)WL#42 4	部品 ドレン
HCD-(DS)A24# 2	HCD-(DS)WB#48 6	HCD-(DS)WL#48 6	部品 穴隠し
HCD-(DS)WA20A-2T2 2	HCD-(DS)WB#60 8	HCD-(DS)WL#60 8	部品 雨樋セット
HCD-(DS)WA24A-2T2 2			備考
HCD-(DS)A28#-1T 1			HCD-(DS)WGJ36 2
HCD-(DS)A28#-1 1			HCD-(DS)WGJ42 2
HCD-(DS)RA20A-1T 1			HCD-(DS)RGJ 1
HCD-(DS)RA24A-1T 1			HCD-(DS)WD1436 2
			HCD-(DS)WD1442 1
			HCD-(DS)WD14 1
			HCD-(DS)WD1460 1
			HCD-(DS)WD1460C 1

■側枠ユニット HCD-(DS)WC##	■棟木・後枠ユニット HCD-(DS)WD####	■垂木ユニット HC#-(DS)#E####	■連棟垂木ユニット HC#-(DS)#EJ##	■ジョイント材ユニット CC#-(DS)#G###
部品名 側枠	部品名 棟木	部品名 垂木	部品名 連棟垂木	部品名 ジョイント材
部品 側枠	部品 棟木	部品 垂木	部品 連棟垂木	部品 ジョイント材
品番 3K-21853	HCD-(DS)WD# 1	HCD-(DS)WE136・HCS-(DS)RE51# 6	HCD-(DS)WE36 7	品番 5K-19110
備考 (側枠用)	HCD-(DS)WD#36 2	HCD-(DS)WE36・HCS-(DS)RE# 7	HCS-(DS)RE2221 2	品番 5K-16549
HCD-(DS)WC36以外 2		HCS-(DS)RE2921 3	HCS-(DS)RE2921 3	品番 4
HCD-(DS)WC36 2				品番 2
				品番 2

■部品ユニット HCD-(DS)-WG####

部品名	柱アンカー	柱カバ	雨樋セット	緩衝材	産金組込六角ボルト (M8×25)	トラスタッピンねじ (φ5×10)	穴塞ぎシール (φ14)	組立・施工説明書
品番	K-11711	5K-17920	5K-17921	EA-E1	2K-49907	2K-17611	ET-5010	K-40433
備考					柱・梁取付用	柱・梁取付用	柱・梁取付用	
HCD-(DS)WG36	4	—	4	2	40	32	258	16
HCD-(DS)WG51	4	—	4	2	42	32	280	20
HCD-(DS)WG57	4	—	4	2	48	32	308	20
HCD-(DS)WG5160	4	—	4	2	56	32	368	24
HCD-(DS)WG5780	4	4	—	2	64	32	406	24

組立・施工要領

1.基礎の施工 寸法図をご覧ください。

2.柱の建込み・仮固定

ポイント
 柱アンカーの脱落防止
 例: 輪ゴムを柱アンカーに引っかける

※延長セットの場合: 棟木・後枠・母屋ユニット

※土のう袋、木片等を利用して柱を仮固定してください。
 ●キズ防止のため、柱を段ボール等で養生してください。

3.梁とジョイント材の組立

4.梁の取付

柱カバを取り付けてください。

※ボルトは屋根組立・寸法確認後、本締めします。

※ボルトは土間コンクリートに埋め込みます。

※ボルトは土間コンクリートに埋め込みます。

※ボルトは土間コンクリートに埋め込みます。

お願い

- 屋根からの落雪が予想される場所では、カーポートに直接落雪しないようご注意ください。(図参照)
- みだりに改造や変更はしないでください。
- 基礎コンクリートには塩化系(急結剤等)や海砂を使用しないでください。柱の腐食の原因となります。
- 屋根面に銀色フィルムを貼らないでください。太陽光線の反射により火災のおそれがあります。
- 凍結防止のため、基礎部に割栗石、砂利または砕石を敷き、柱に水抜き穴をあけてください。
- 組立ては、所定のねじを使用して最後まで締め付けてください。締め付け不良は漏水や性能低下および事故の原因となります。
- ユニットの組替え等により製作する場合は製作範囲を確認してください。製作範囲を超えると事故(人損、物損)の原因となります。
- カーポートの上に座らないでください。カーポートにはしこをかけるしないでください。
- カーポートの破損だけでなく落下事故の原因となります。
- 部材を切詰めする際、水密材のかしめ部分を切断する場合は、部材の端部をペンチ等でかしめ直してください。

全体構成図

重木・屋根材押え 棟木
 側枠・屋根材押え 母屋 梁 屋根材
 後枠 柱

■たて連棟

並列カバ取付の際は、柱位置が異なりますので並列カバの組立・施工説明書をご覧ください。

※()の寸法は5460、5760の場合です。

部品名	棟木	後枠	母屋	前枠連結材	後枠連結材	後枠連結金具	母屋連結材	ドレン	穴隠し	雨樋セット
品番				3K-19543	4K-17641	4K-17642	4K-16287	2K-31200	K-36937	EA-E1
備考										
HCD-(DS)WGJ36	—	—	—	—	2	2	5	2	2	—
HCD-(DS)WGJ42	—	—	—	2	2	2	4	2	2	—
HCS-(DS)RGJ	—	—	—	1	1	1	3	1	1	—
HCD-(DS)WD1436	—	2	5	—	2	2	5	2	2	2
HCD-(DS)WD1442	1	2	4	2	2	2	4	2	2	2
HCD-(DS)WD14	1	2	6	2	2	2	6	2	2	2
HCD-(DS)WD1460	1	2	8	2	2	2	8	2	2	2
HCD-(DS)WD1460C	1	2	8	2	2	2	8	2	2	2

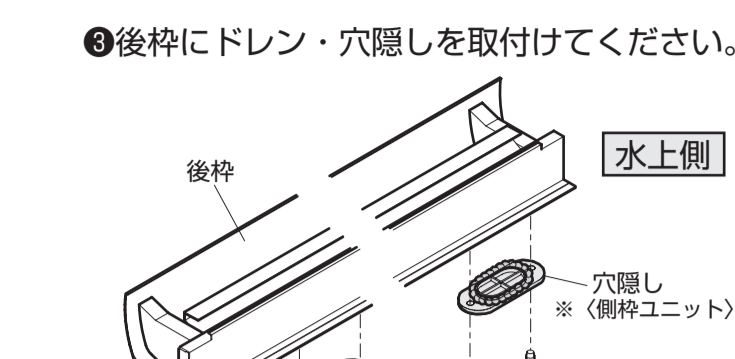
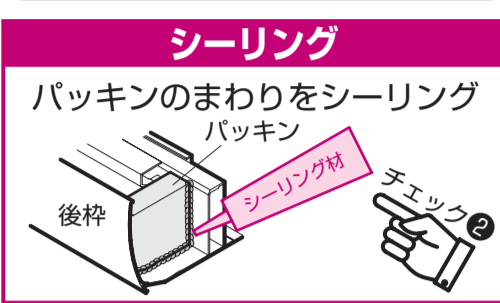
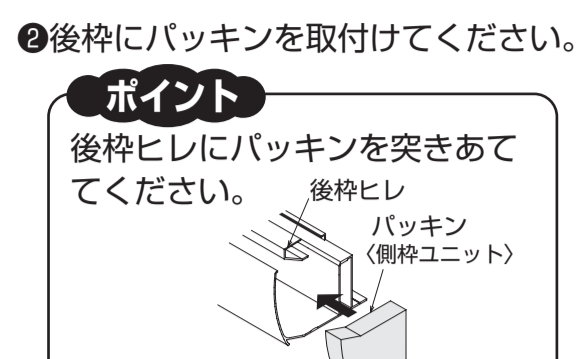
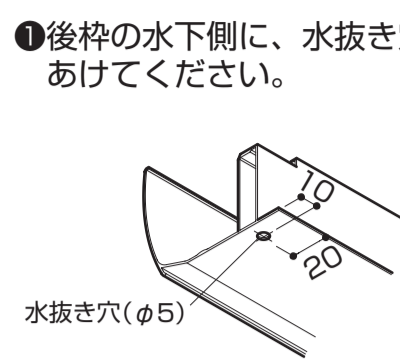
■屋根材ユニット (厚さ: 1.8mm)

ユニット記号	長さ	幅	数量
CCD-(DS)TF36-2#	3591	700	2
CCD-(DS)TF36-3#		700	3
CCD-(DS)TF5436-2#		654	2
CCS-(DS)RF21-3#	2082	706	3
CCS-(DS)RF21-4#		706	4
CCS-(DS)RF5421-4#		654	4
CCS-(DS)RF24-3#		706	3
CCS-(DS)RF24-4#	2387	706	4
CCS-(DS)RF5424-4#		654	4
CCS-(DS)RF25-3#		706	3
CCS-(DS)RF25-4#		706	4
CCS-(DS)RF5425-4#	2539	654	4
CCS-(DS)RF27-3#		706	3
CCS-(DS)RF27-4#		706	4
CCS-(DS)RF5427-4#		654	4
CCS-(DS)RF30-3#	2995	706	3
CCS-(DS)RF30-4#		706	4
CCS-(DS)RF5430-4#		654	4

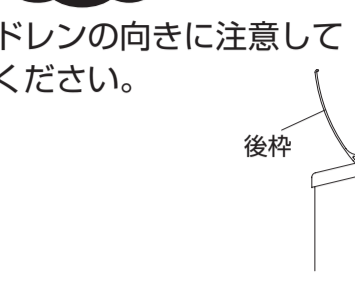
末尾の#は屋根材の種類を表わします。

組立・施工要領

5. 後枠の取付 ※長さ切詰めする場合は、長さ切詰めする場合は参照

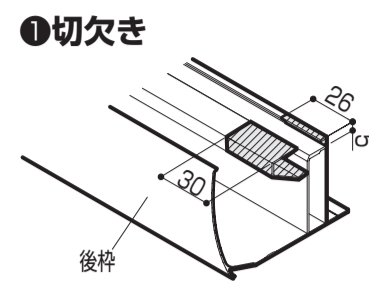


ポイント



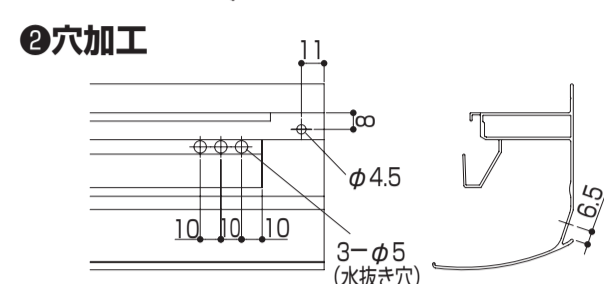
長さ切詰めする場合

切詰め側に左右同様の切欠き加工をしてください。後枠は加工が異なるため、下記を参照してください。

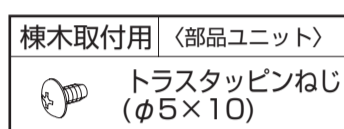


お願い

必ず水抜き穴をあけてください。雨水が排水されず、雨漏りの原因になります。

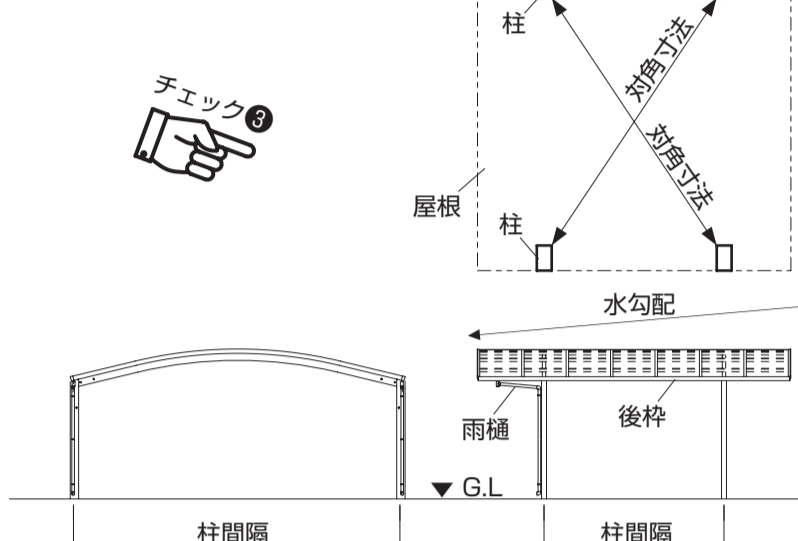


6. 棟木の取付



7. 寸法確認・調整

- 柱の間隔・垂直・対角
- 後枠 (長さ方向) の水勾配
- ※雨樋取付側が水下側



ポイント

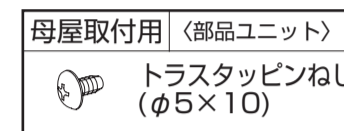
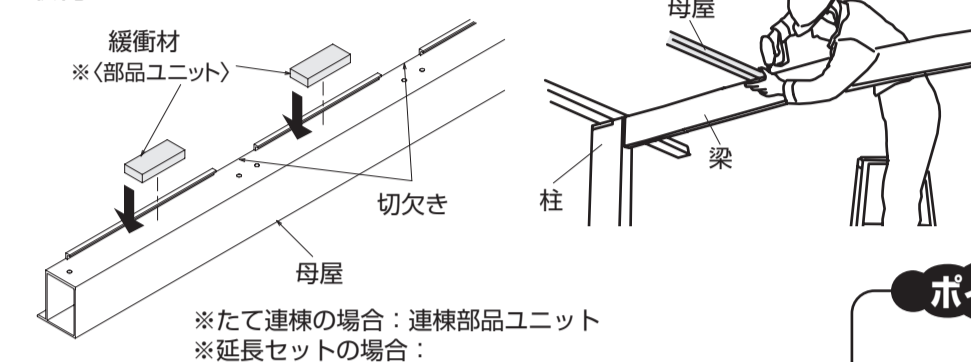
寸法がでない場合は、部材を動かして調整してください。

■柱の対角寸法 (寸法は調整用の目安)

呼称	対角寸法	呼称	対角寸法	呼称	対角寸法
5048	5338	5448	5447	5748	5560
5051	5592	5451	5695	5751	5804
5054	5848	5454	5948	5754	6052
5060	6372	5460	6422	5760	6518

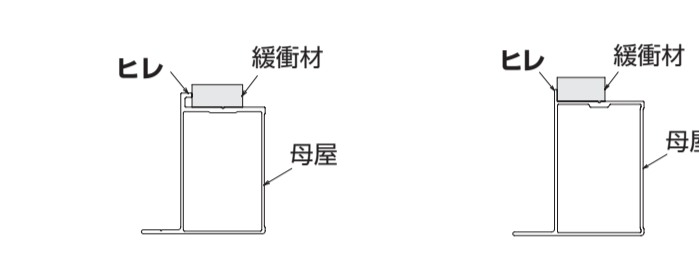
8. 母屋の取付

緩衝材を母屋の切欠きと切欠きの中心部分に貼付け、母屋を取付けてください。



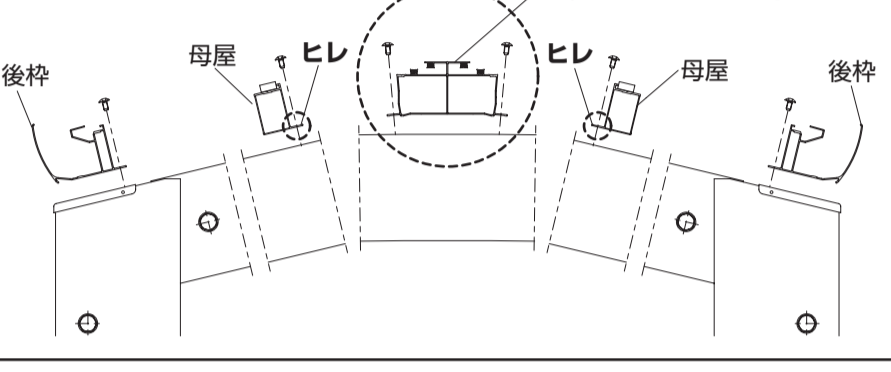
ポイント

母屋のヒシに突き当てて貼付けてください。

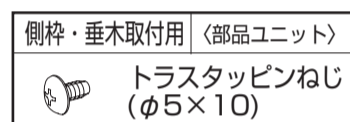
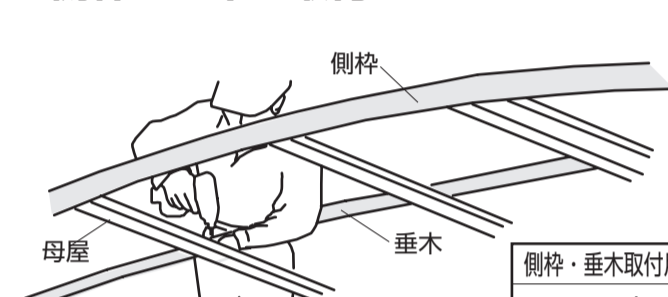


ポイント

母屋のヒシを棟木側に向けてください。
棟木※D36サイズ: 母屋



9. 側枠・垂木の取付



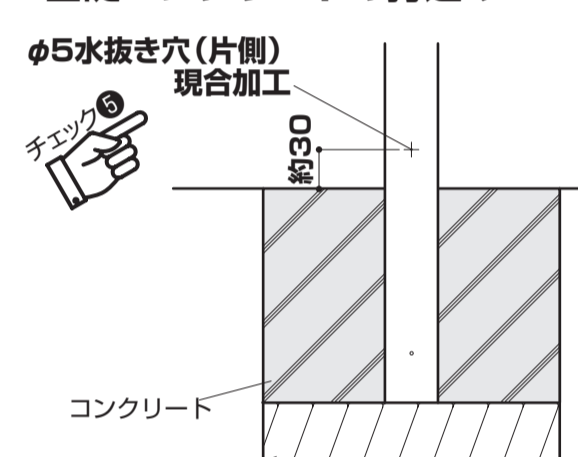
後枠キャップを取付けてください。



10. 本体の仮固定と柱・梁取付ボルトの本締め

- 再度寸法を確認してください。
- 柱・梁取付ボルトを本締めしてください。

11. 基礎コンクリートの打込み



お願い

凍結破損防止のため、基礎部に割栗石、砂利または砕石を敷き、必ず水抜き穴をあけてください。

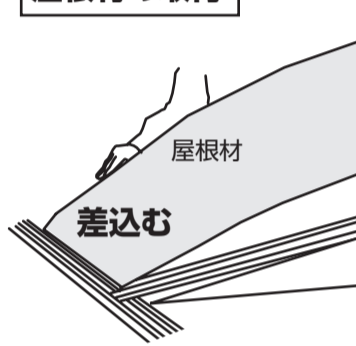
注意

屋根材の取付けは、基礎コンクリートが確実に固まってから行ってください。基礎コンクリートは、4~7日の養生期間が必要です。

12. 屋根材・屋根材押えの取付

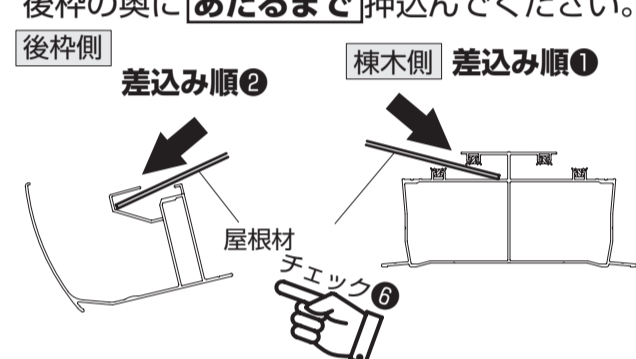
取付前に、屋根材の養生フィルムをはがしてください。

屋根材の取付



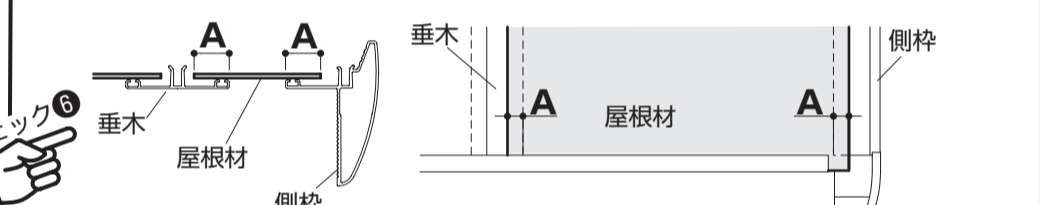
ポイント

後枠の奥にあたるまで押込んでください。



お願い

屋根材のみみ込みAが左右同じになるように調整してください。片側ののみみ込みが浅いと耐荷重性能低下の原因になります。

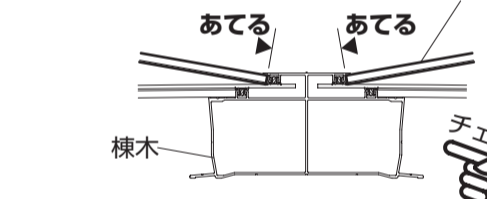


屋根材押えの取付

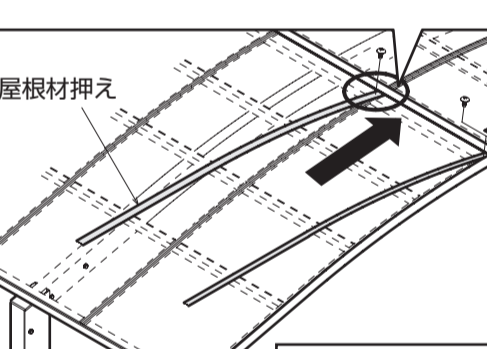


ポイント

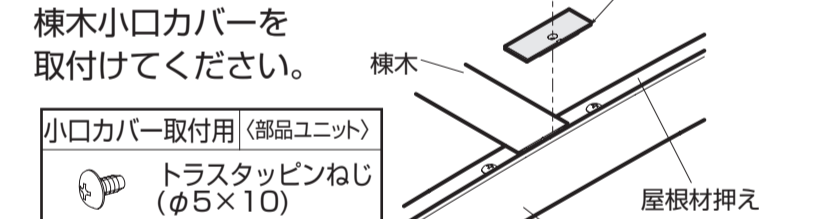
●棟木に押しあてる



●ねじ止めは、棟木側から順に行う

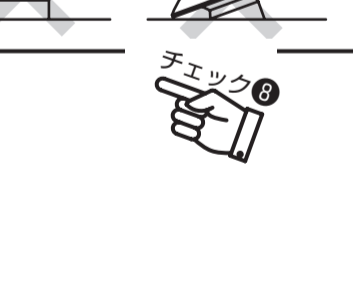


屋根材押えを取付後、棟木小口カバーを取付けてください。

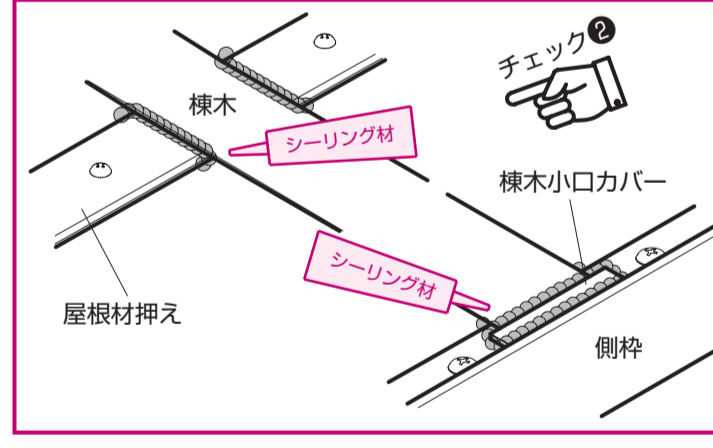


お願い

ねじは確実に締付けてください。雨漏りの原因になります。



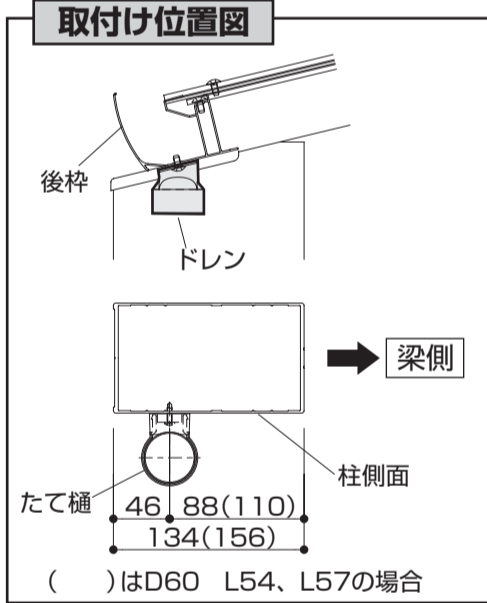
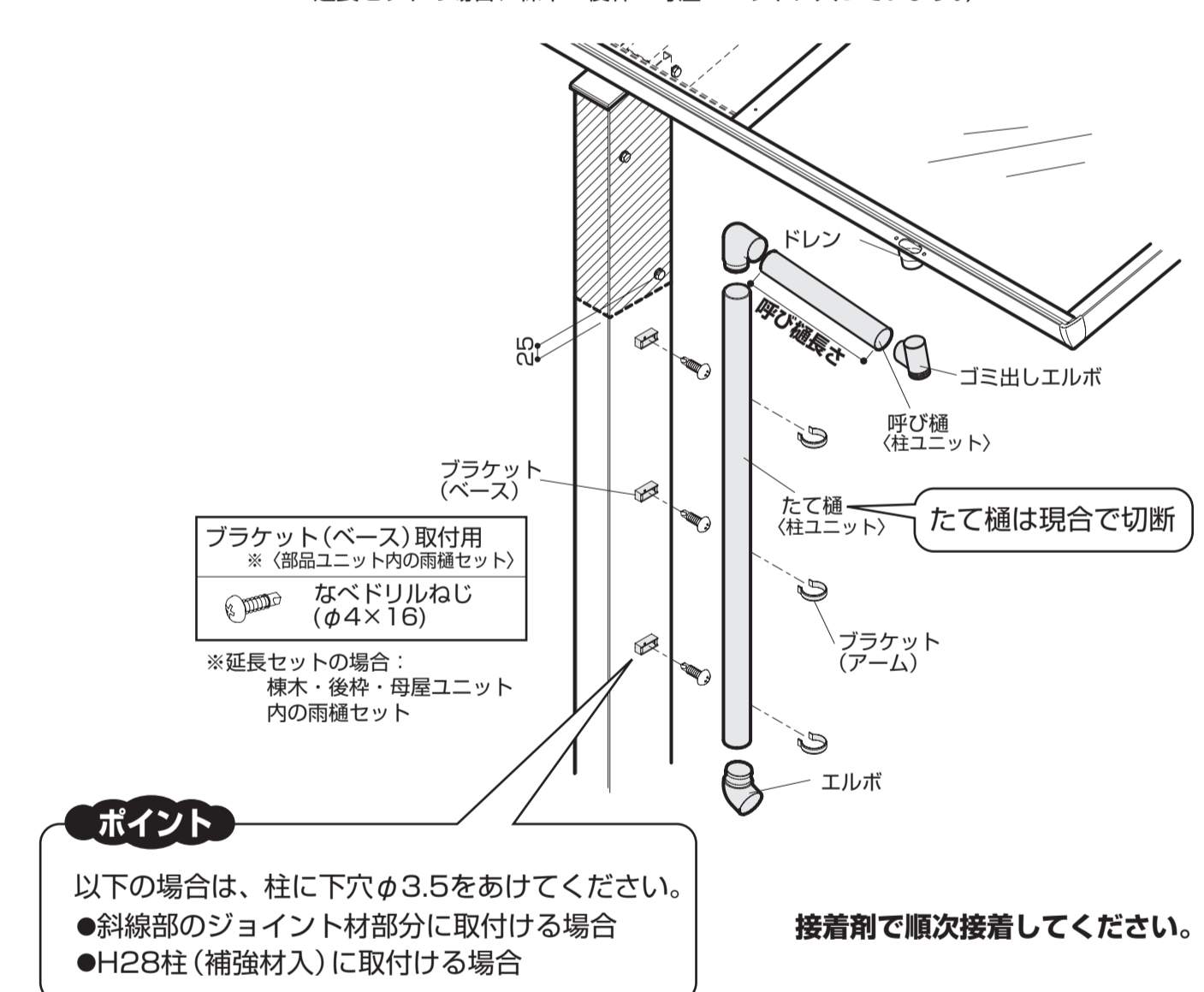
シーリング



棟木と屋根材押え部は「U」字型にシーリングをしてください。屋根材押え

13. 雨樋の取付

(たて樋・呼び樋以外の部品(雨樋セット)は、部品ユニットに入っています。延長セットの場合、棟木・後枠・母屋ユニットに入っています。)



柱標準位置での呼び樋長さ

呼称	切断寸法
L14	331(326)
L50	673
L54	747(742)
L57	831(826)

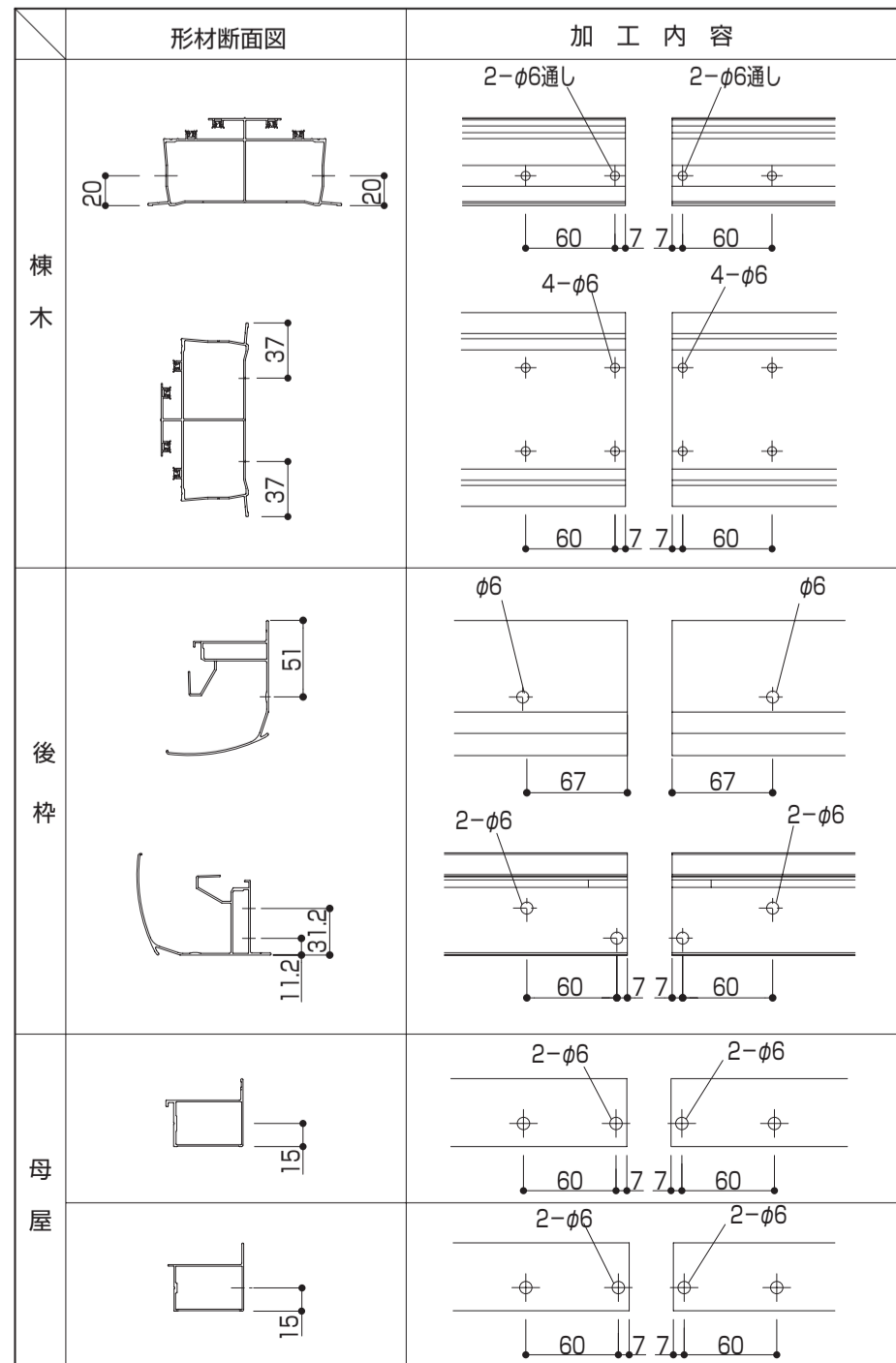
()はD60サイズの場合

接着剤で順次接着してください。

たて連棟する場合

1. 部材の加工

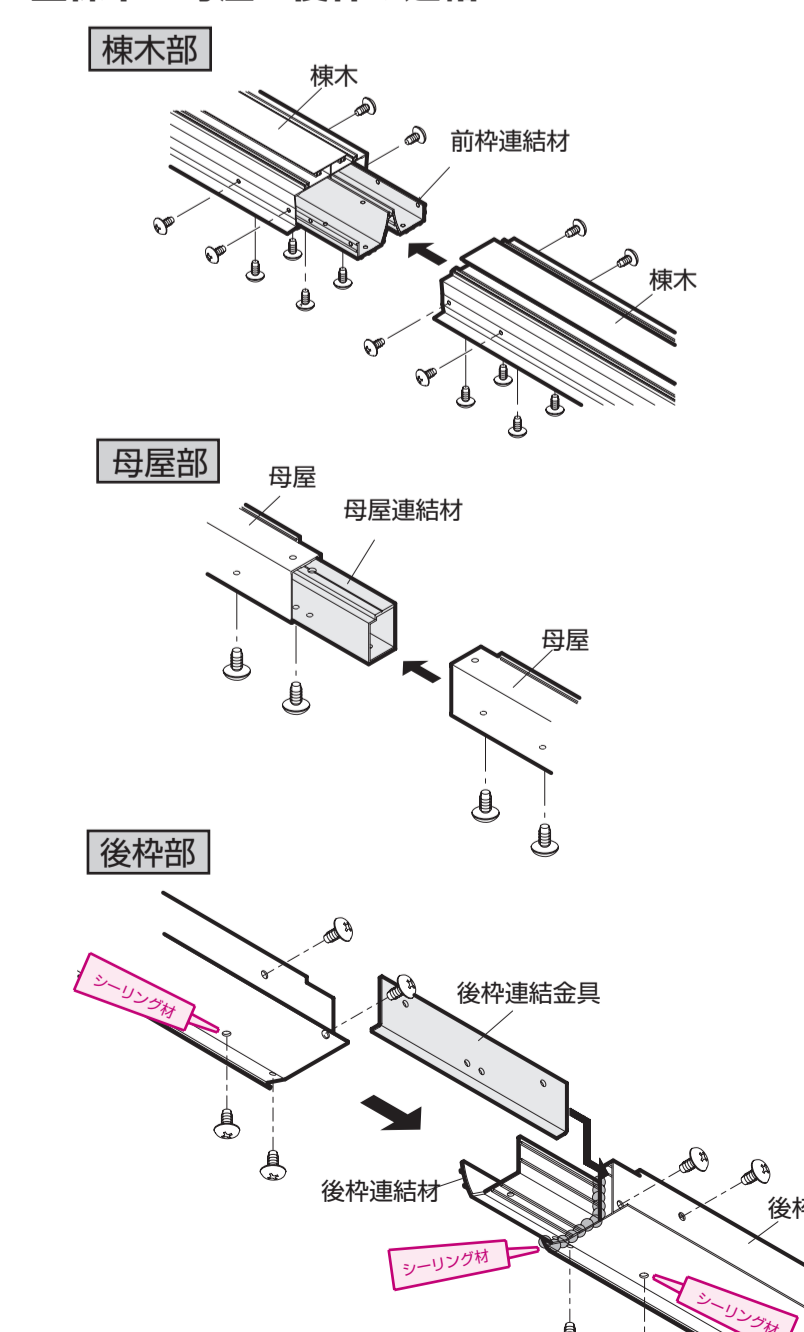
棟木・後枠・母屋の連結部に穴加工(φ6)を行ってください。



2. たて連棟する場合の組立

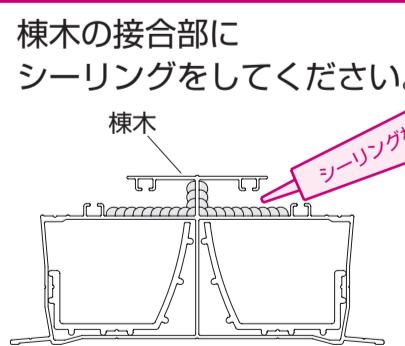
(部品は連棟部品ユニットに入っています。延長セットの場合、棟木・後枠・母屋ユニットに入っています。)

1. 棟木・母屋・後枠の連結

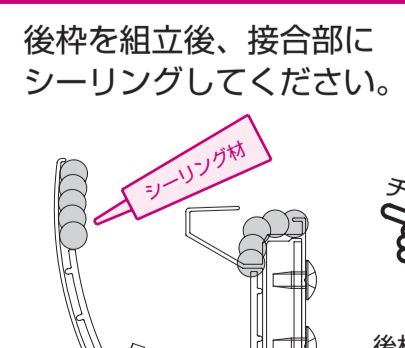


棟木・母屋・後枠連結用 (連棟部品ユニット)
トラスタッピンねじ (φ5×10)
※基本セットの部品ユニットにも入っています。
※延長セットの場合: 棟木・後枠・母屋ユニット

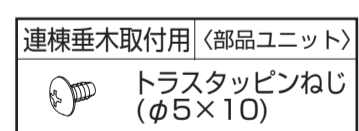
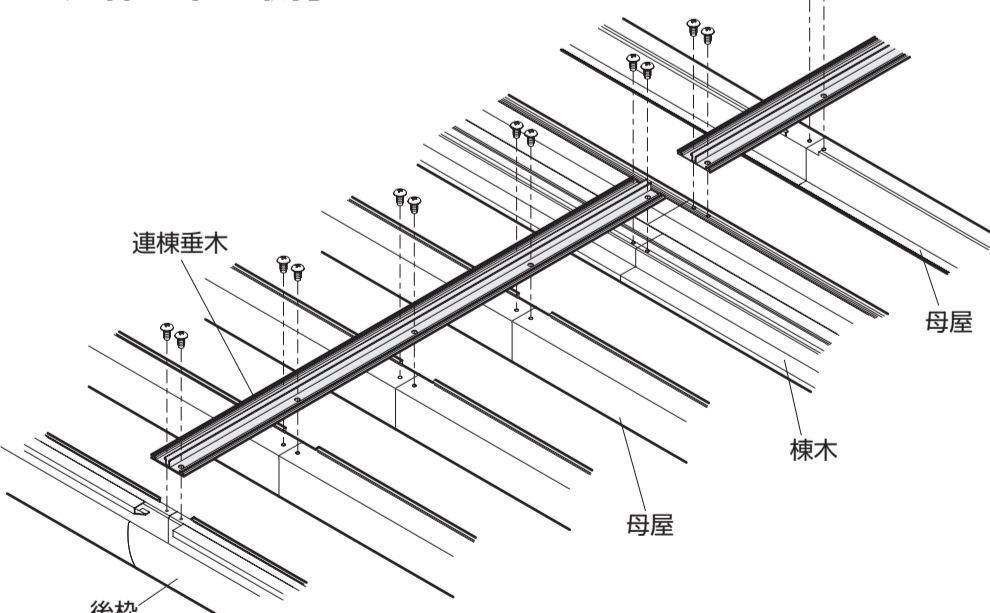
シーリング



シーリング



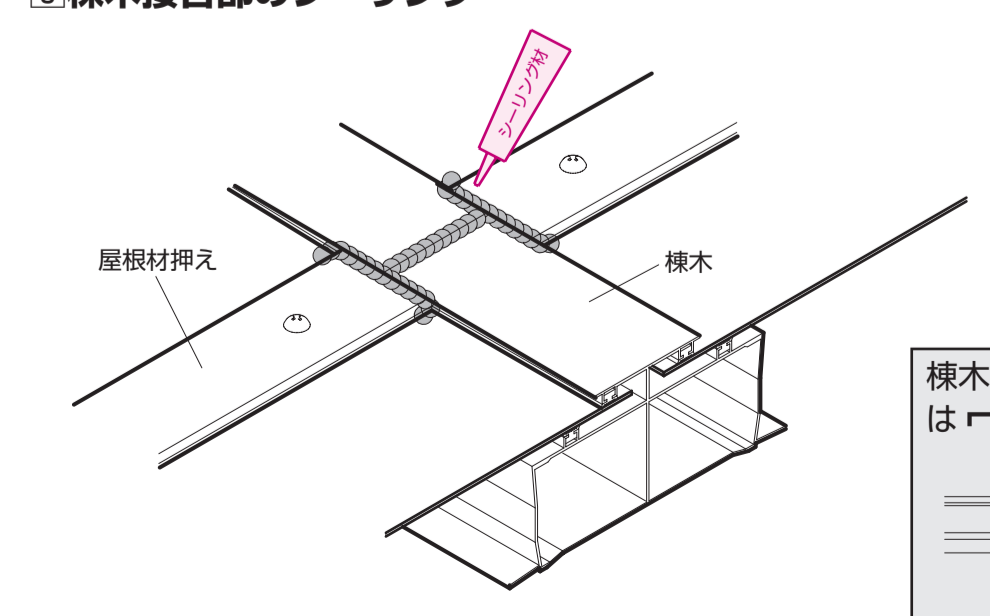
2. 連棟垂木の取付



お願い
ねじは確実に締付けてください。雨漏りの原因になります。

ねじ浮き 斜め取付

3. 棟木接合部のシーリング



棟木と屋根材押え部は「U」字型にシーリングをしてください。屋根材押え
連棟垂木

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

組立・施工の前に…

商品を正しく組立・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。
商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。

組立・施工の後に…

取扱説明書をお施主様にお渡しください。

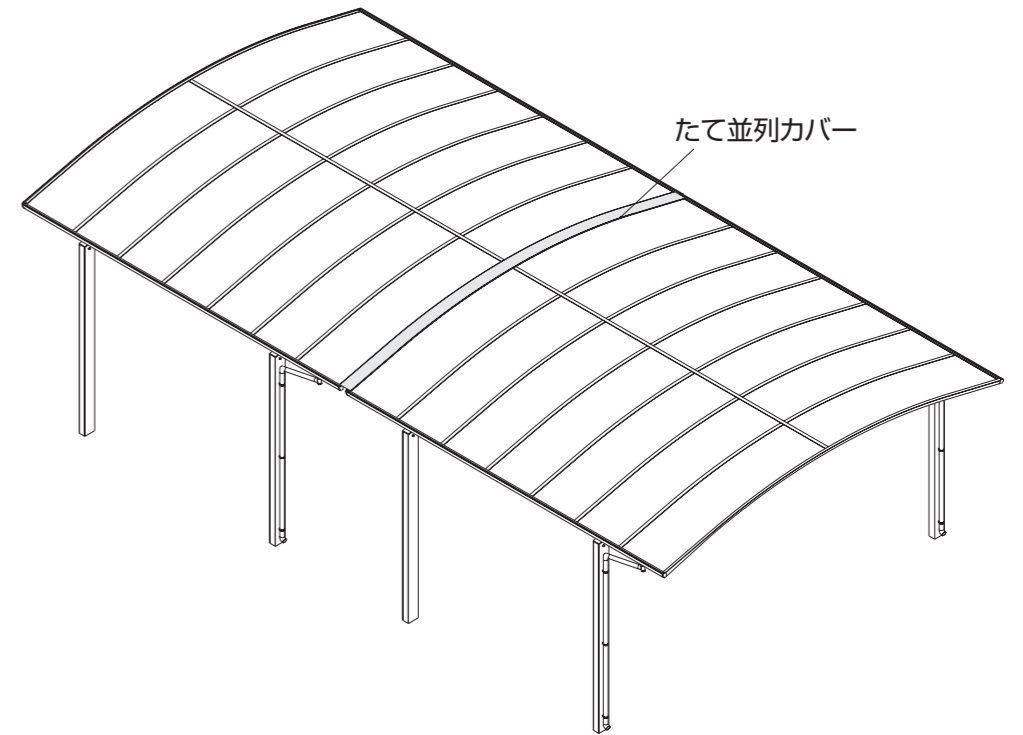
本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

本説明書は、「ワイドタイプ たて並列カバー」の組立・施工要領を記載しています。カーポート本体の組立・施工要領については、本体に同梱の組立・施工説明書をご覧ください。

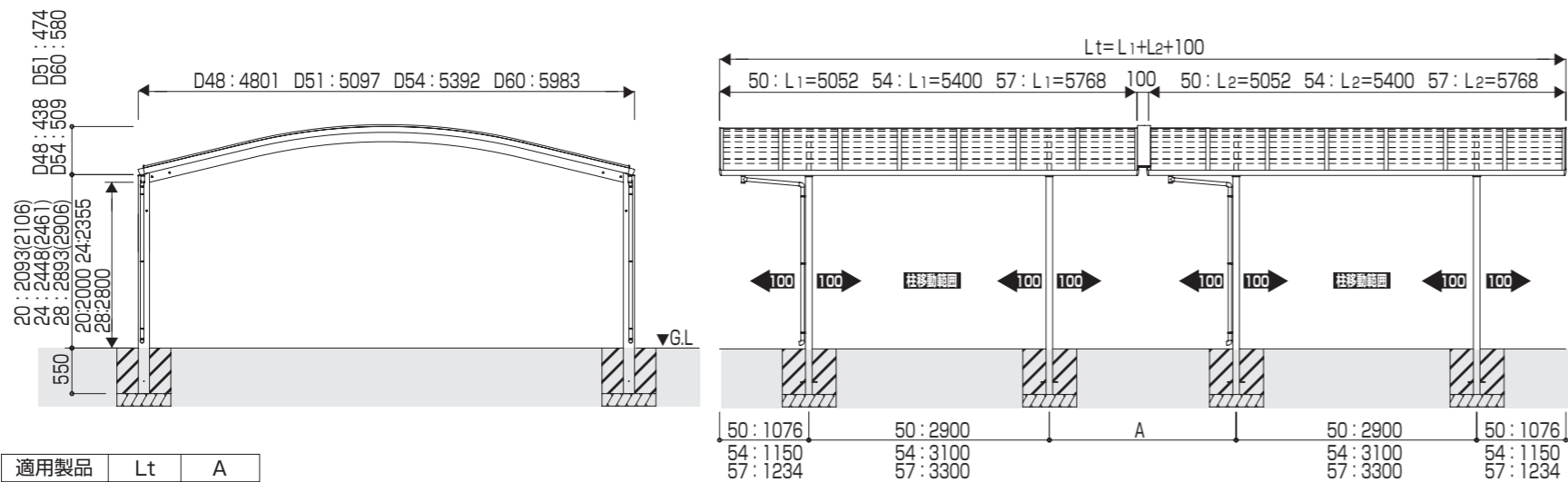
お願い

- みだりに改造や変更はしないでください。
- 組立は、所定のねじを使用して最後まで締めつけてください。締め付け不良は、漏水や性能低下および事故の原因になります。
- 本体にキズをつけますと、腐食しやすくなりますので、取扱いには十分ご注意ください。
- 商品の上に乗ったり、はしごを掛けしないでください。商品の変形だけでなく、落下事故の原因になります。

全体構成図

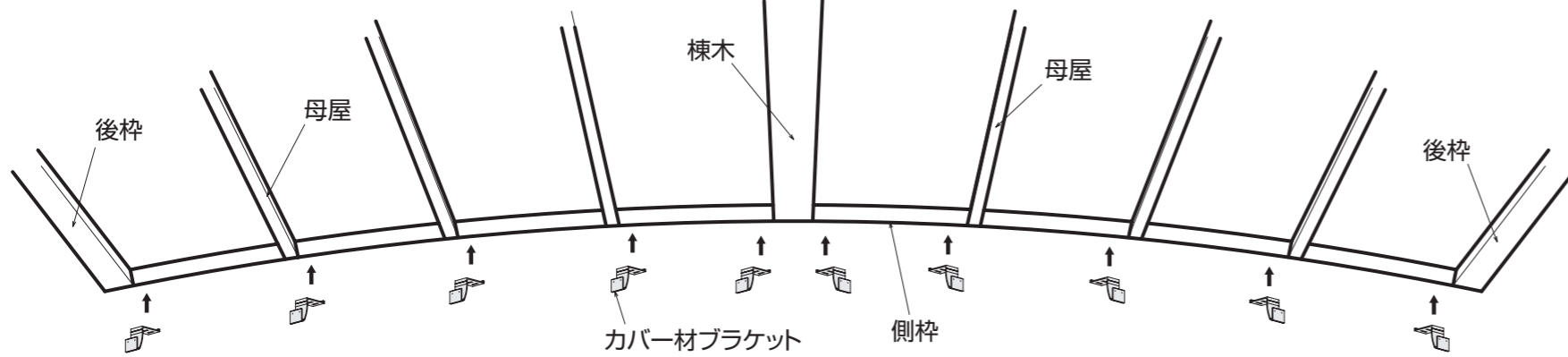


寸法図(単位: mm)

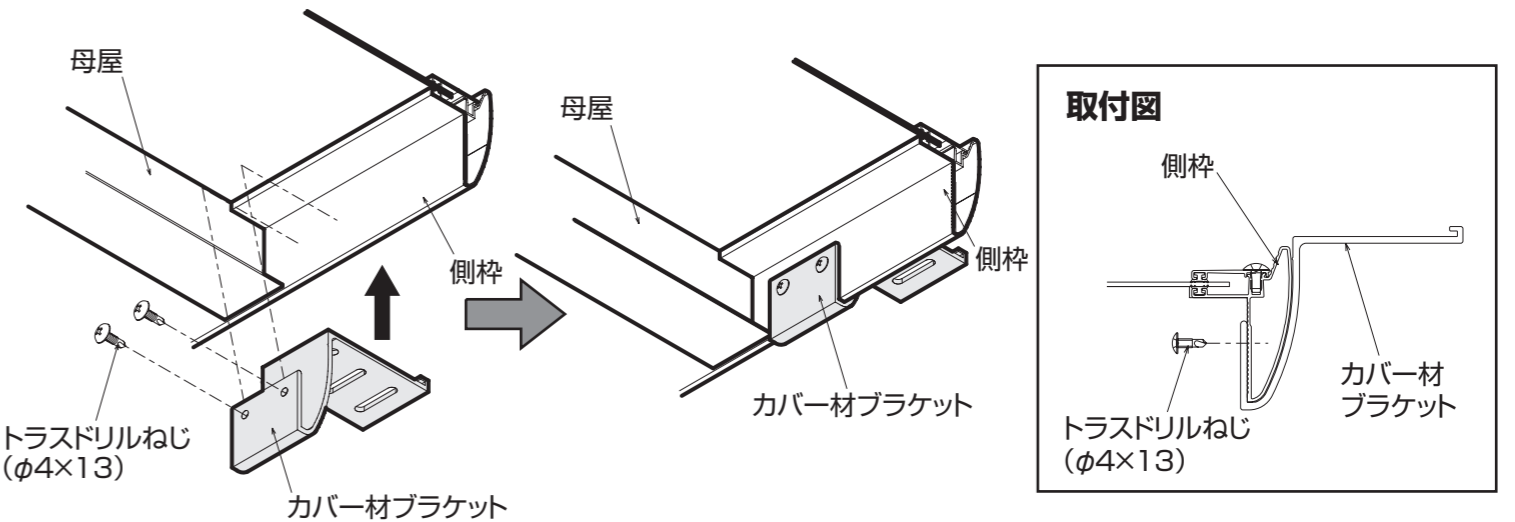
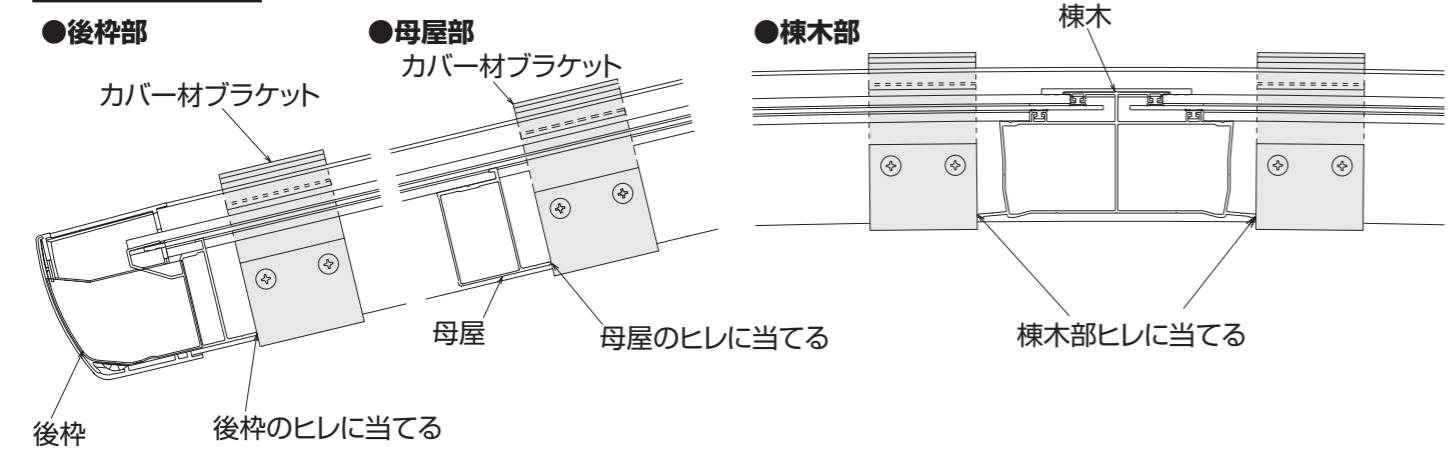


1. カバー材ブラケットの取付

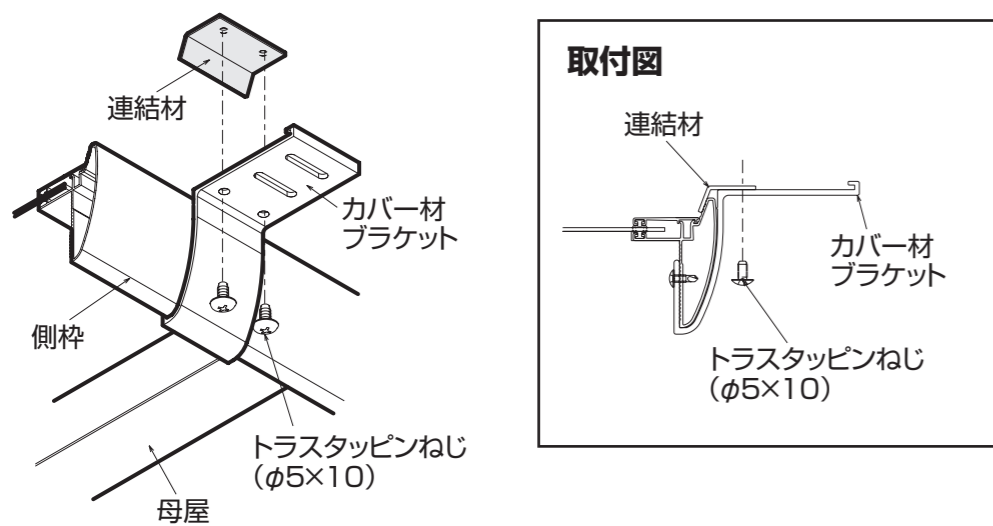
片側の側枠に、屋根内側からカバー材ブラケットをねじ止めしてください。



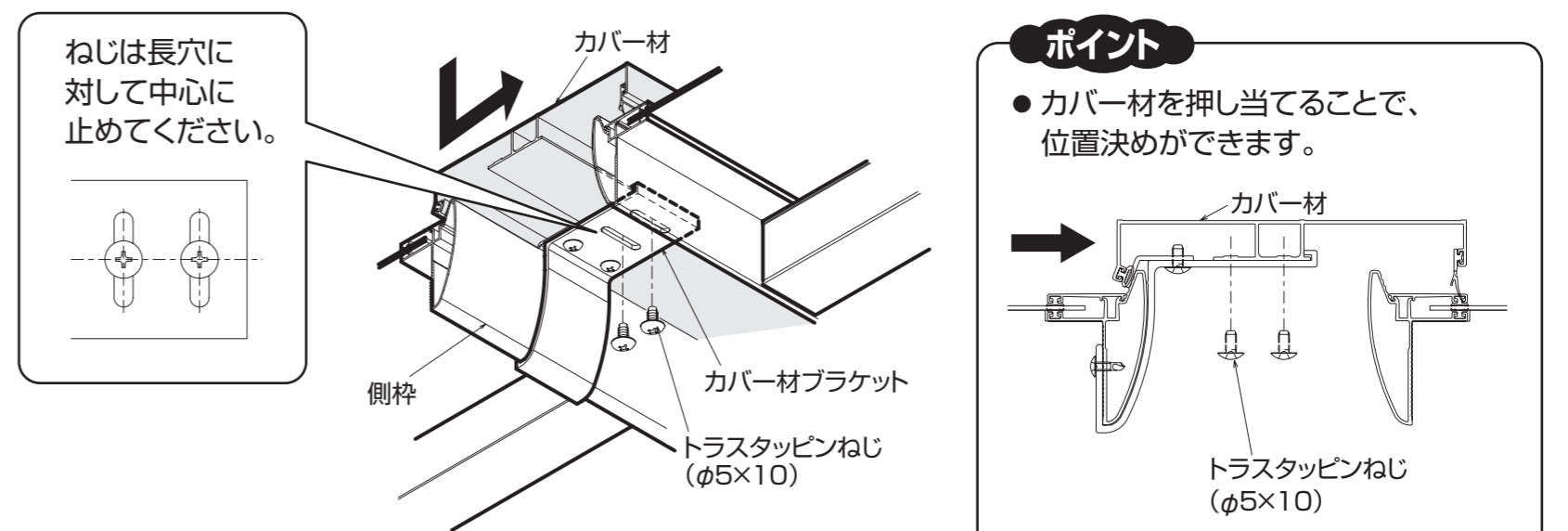
固定位置詳細



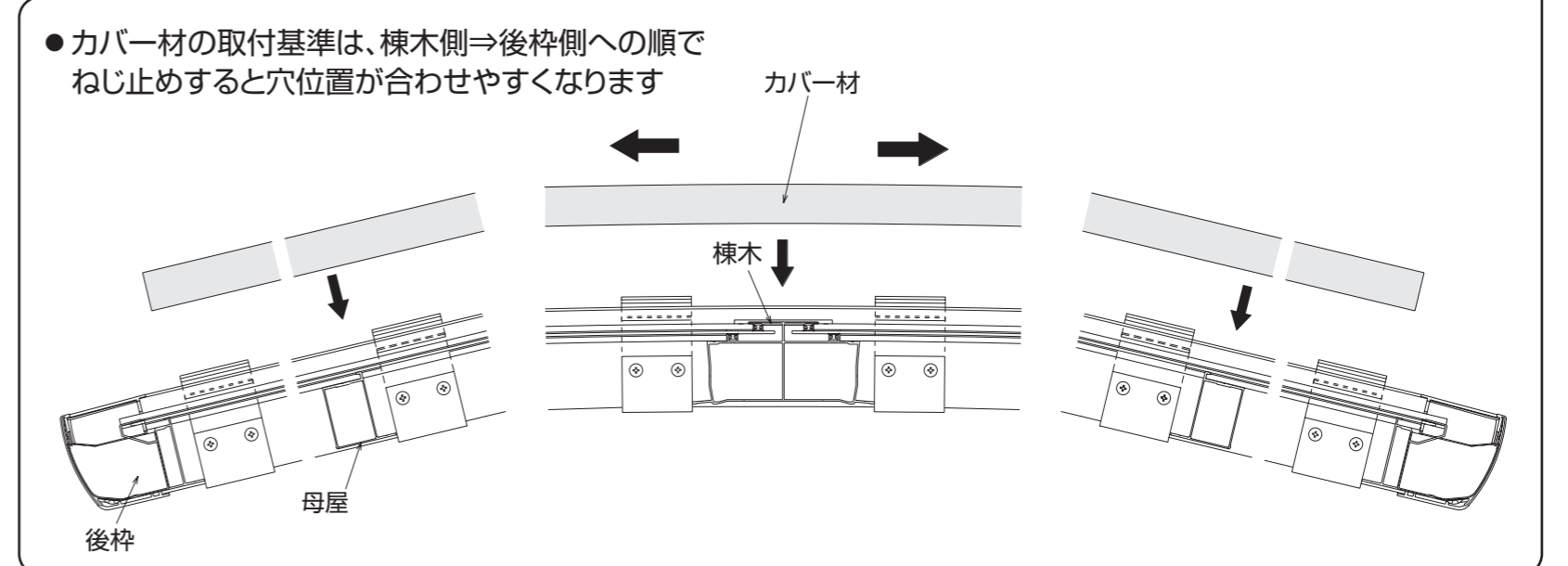
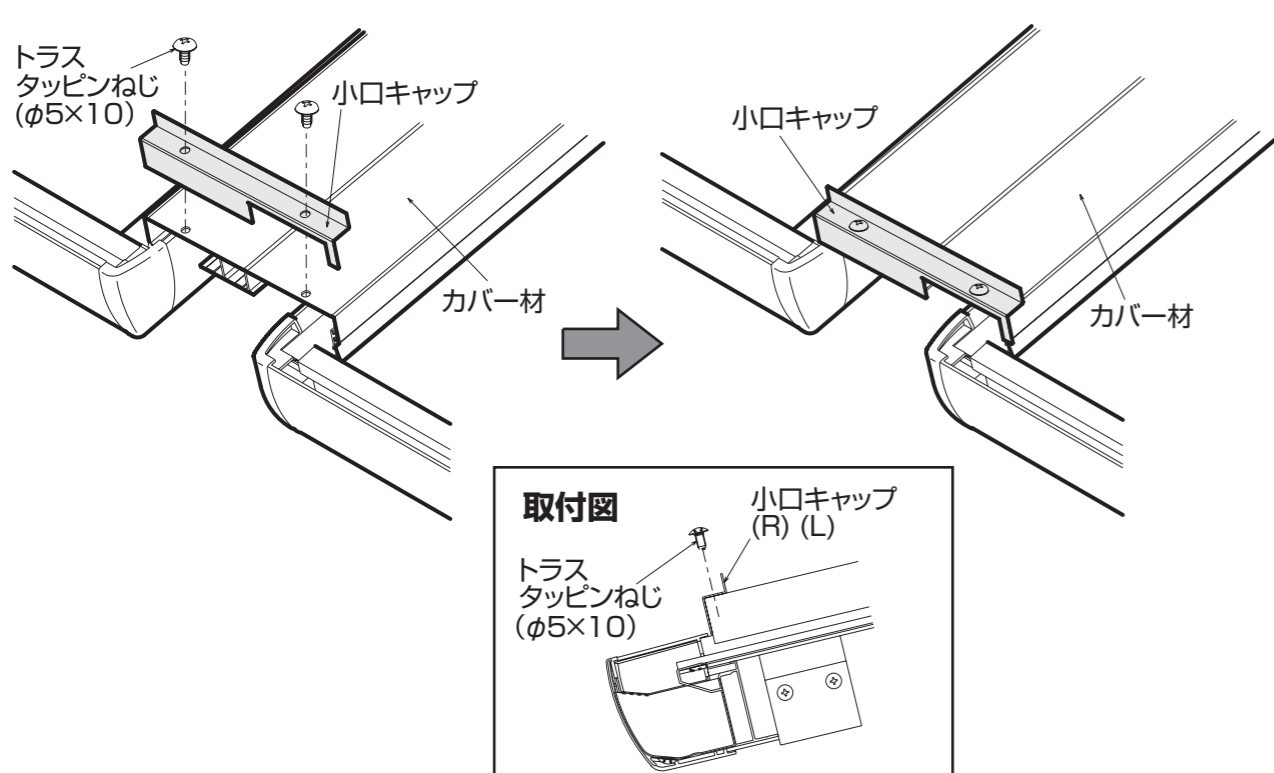
2. 連結材の取付



3. カバー材の取付



4. 小口キャップの取付



お願い
 母屋取付位置を変更した場合は、カバー材の穴位置が合わなくなります。
 現会で下面よりカバー材にφ4.5の下穴をあけてからねじ止めしてください。